



## — 主な眼疾患と教育的対応について —



「2020年全国視覚障害幼児児童生徒の視覚障害原因等実態調査」(筑波大学 研究報告書 2022年3月発刊)によると、

「視覚障害原因は、先天素因(小眼球、虹彩欠損、網膜色素変性症、視神経萎縮、緑内障など)が最も多く、次いで、未熟児網膜症、原因不明、腫瘍、全身病、感染症の順」という結果が挙げられています。

「眼疾患の部位は、眼球全体が最も多く、次いで、網脈絡膜疾患、視神経視路疾患、水晶体疾患、ぶどう膜疾患の順」となっています。

「視覚障害原因疾患は、未熟児網膜症、小眼球・虹彩欠損、弱視、硝子体網膜症、視神経萎縮、白子症、眼振、黄斑変性」ということです。

この調査は、「2021年2月、小学校197校、中学校54校の弱視学級在籍児童生徒の視覚障害原因等について、郵送法による質問紙調査のデータ分析を行った結果」「回答を得た児童が275名、生徒68名、計343名のデータ」となっています。

「弱視学級在籍者の視力は、0.3以上が4割ほどを占め、0.02未満から不明までと範囲が広い。」

「拡大文字使用者が最も多く、次いで、普通文字使用、併用、点字使用者・文字指導困難者の順。」

「視覚補助具使用者は、8割を超え、視覚特別支援学校の5割程度と比較して割合が高い。」

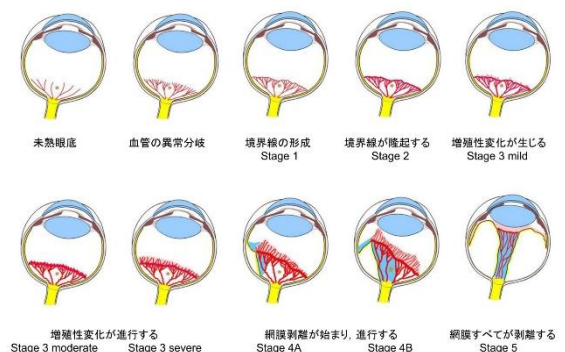
「重複障害の割合は、視覚特別支援学校と比較して弱視学級では低かった。」という調査結果が挙げられています。

研究報告書などを遠ざけず、全国の傾向を把握し、佐賀県や自校の状況を掴む道具として活用したいものです。自校の実態を把握し、学校教育での指導等に生かしていくことが望まれます。

今回は、主な眼疾患の症状などについて紹介します。すべての発達領域に大きな影響を及ぼす視覚の役割を考え、その実態を適切に把握し、教育的対応や指導に生かす視点を身につけてまいりましょう。

### ○ 未熟児網膜症

胎齢32~34週以前に生まれた場合に、網膜の異常が生じます。合併症として、網膜剥離、緑内障、強度近視等を伴うことがあります。6~15歳頃に、網膜剥離が生じやすく注意が必要です。軽度から中度の未熟児網膜症において、視野の鼻側周囲に軽度の狭窄が認められることがあります。



## ○ 網膜色素変性症

網膜周辺部の病変が強く、中心部の網膜は比較的保たれます。進行性の疾患で、個人差が大きく、3種類に分けられます。A群は視野が狭窄しますが、視力低下が少なく、大多数は30歳過ぎても0.6以上の視力を維持します。B群は思春期頃から視力低下を感じ、加齢による視野狭窄も同時に進行します。50歳を過ぎると、視力0.1未満となります。C群は早くから視力障害が強く、視力0.1以下となります。

網膜色素変性症の見え方の変化の一例



また、暗いと見えなくなる夜盲の場合、下校時の配慮なども必要です。暗所から明るい所への明暗の順応に対する配慮も必要です。

使用文字の大きさは、生徒の見

え方によって調整することが必要です。まぶしさを抑える遮光眼鏡、白黒反転できる電子機器の使用は、学習効果が期待できます。進行性であり、個人差があることを踏まえ、歩行や球技等における困難に対する心理的ケアが必要です。

## ○ 視神経萎縮

弱視教育対象の幼児児童生徒に比較的多く見られる中心症状です。視神経の神経線維が変性し、その機能が損なわれます。中心暗点のある視神経萎縮は、目の中心が正しく目標に向かわないため、横目の状態で見ている者が多くなります。外斜視や眼球振動、眼位、眼球移動の異常などの症状が見られます。小さい文字が暗点部に入ると読むのは困難です。読書と書字は、非常に大変な学習活動となります。文字を確認するためには、自由に文字が拡大できる拡大読書器の活用が最も有効です。

学習環境として、明るい照明が原則ですが、視神経萎縮では、まぶしさを強く感じ、不快感と共に見えにくくなります。そのため、まぶしさが軽減される照明環境を選ぶことが必要です。

赤色の弁別力が低下し、色の鮮やかさが失われて見えるため、図等の色の境界に補助線を引く配慮が必要です。

緑内障の見え方の変化の一例

## ○ 緑内障

眼の中の循環障害によって眼圧が上昇し、視神経の萎縮が進行し、視力低下



や視野狭窄が生じます。小児緑内障には原発と続発があり、原発先天緑内障の場合、眼球そのものが拡大し黒目が大きく見えるので、牛眼と呼ばれることもあります。外力(目の打撲や全身的衝撃など)が加わると、眼球破裂の危険性があり、眼底出血、網膜剥離、水晶体脱臼などを生じやすくなります。涙があふれる、まぶしさ、まぶたがピクピクする、黒目が白く濁るといった症状がみられます。

長時間の前かがみのような姿勢は、眼圧を高めるので、書見台を活用し、姿勢と学習時間を配慮する必要があります。

### 引用・参考文献

『視力が弱い子どもの理解と支援』大川原 潔 香川邦生 瀬尾 政雄 鈴木 篤 千田耕基 編 教育出版 1999

『視覚障害教育に携わる方のために』香川 邦生 編著 慶應義塾大学出版会 2020 五訂版

佐賀県立盲学校

電話 (0952) 23-4672

FAX (0952) 25-7044

代表メール [mougakkou@education.saga.jp](mailto:mougakkou@education.saga.jp)

お気軽に御連絡ください。巡回相談の依頼も受け付けています。